

平成 29 年度 第 1 回長野市総合計画審議会 会議録

日 時：平成 29 年 5 月 12 日（金） 午後 2 時から

場 所：庁議室（第一庁舎 5 階）

出席者：委 員/ 三浦会長、園原副会長、有澤委員、上野委員、金井委員、白石委員、滝沢委員、藤森委員、堀江委員、本間委員、増山委員、柳沢委員、山浦委員
長野市/ 久保田総務部長、増田企画政策部長、平野財政部長、竹内地域・市民生活部長、竹内保健福祉部長、上杉こども未来部長、井上環境部長、丸山商工労働課長、倉石文化スポーツ振興部長、西島農林部長、島田建設部長、上平都市整備部長、横地会計局長、松本教育次長（行政）、熊谷教育次長（教育）、戸谷上下水道局長、込山消防局長、杉田危機管理防災監
事務局/（企画課） 倉島次長、堀内主幹、佐久間係長、宮坂主査、山口主査、酒井主査、白澤主査、小林主査

（人口増推進課）長谷部課長、川上主幹、関谷係長

1 開会

（事務局）

定刻になりましたので、これより長野市総合計画審議会を開会いたします。

企画課の堀内です。よろしくお願ひいたします。

本日の資料は、事前にお送りいたしました次第、平成 29 年度版実施計画、総合戦略アクションプランと 1 枚もので、タイトルに「今年度の計画推進日程」とある資料となりますので、ご確認をお願いします。

また、本日は池田委員、碓井委員、川北委員、塚原委員、寺内委員、山口委員からご欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。それでは三浦会長からごあいさつをお願いします。

2 会長あいさつ

（三浦会長）

皆さんこんにちは。

総合計画の答申が終わって、皆さん仕事が終わったと思っていたところだと思いますが、実施計画が送られてきました。これは実際に計画を進めるに当たって事業をまとめたものだということです。具体的にどのように動くかということがまとめてあって、これからのきっかけということだと思います。

今回は内容を議論するというよりは、今年度はこのように動いていくということをご

了承いただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

3 議事

(事務局)

それでは、審議に移らせていただきますが、議長につきましては、三浦会長にお願いします。なお、審議時間ですが事務局としましては午後3時頃にはと思っています。よろしくお願いいたします。

(三浦会長)

それでは、議事に入ります。

議事(1)の第五次長野市総合計画の実施計画について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

企画課の倉島でございます。第五次長野市総合計画につきましては、おかげさまで3月の市議会定例会で基本構想の議決をいただき、4月からスタートしております。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

それでは実施計画についてご説明いたします。本日は、どんな構成になっているかを概要で説明いたしますのでよろしくお願いいたします。

— 資料に基づき説明 —

以上で説明を終わります。

(三浦会長)

ようやく第五次総合計画の全体が出来上がったということになりますね。

昨年度まで基本構想と基本計画を策定してきたわけですが、最後の実施計画は前回の審議会で様式について説明がありましたし、先月中旬には事前に意見や提案を求められていました。

事前に寄せられた意見はなかったようですが、ただ今の説明を聞いて、来年度以降につなげる意味合いで、ご提案があればお願いしたいのですが。

全体を見回してみた感想や、重点テーマのはずだったのに予算化されていなかったとか、策定段階で関わっていただいた特定の分野での感想があればお聞きしたいのですが、いかがでしょうか。

それでは特にご意見等ないようですので、議事（２）の今年度の計画推進日程について事務局から説明してください。

（事務局）

それでは今年度の流れについて、今年度の計画推進日程（概要）の資料をご覧ください。

— 資料に基づき説明 —

以上で説明を終わります。

（三浦会長）

せっかく策定した総合計画をどのような年間スケジュールで推進していくかということだと思えます。

今年度はこのような形で仕方がないのかとは思いますが、来年度以降での流れについて、建設的なご意見をお聞きしたいと思えます。

（金井委員）

自分の認識不足かどうか二点ほど確認したいと思えます。

一つ目はまちの将来像として、「幸せ実感都市『ながの』」を掲げまして全ての施策がここに結び付くように考えてきたと思えますが、先ほどいただいた職員の方の名刺に「ながのご縁を～信都・長野市～」というマークがついていたり、のぼり旗が飾ってあったりします。第五次総合計画では「幸せ実感都市『ながの』」ということ謳ってきたので、全ての情報発信が「幸せ実感都市『ながの』」になっていないと不満があります。

先日行われた 120 周年の記念事業で市立長野高校の女子生徒が、「長野市はもっと情報発信をしていくべき」ということを言っていました、全くそのとおりです。そして長野市の将来像を発信していく時に、「幸せ実感都市『ながの』」という言葉に全てが結び付くようにしていかないと、総合計画を作った意義を問われてしまうのではないかと懸念があります。

もう一つは、この総合計画は市民のためのものです。その市民の方に知っていただくためにどのようにするのか、以前の審議会でも質問させていただきましたが、第五次総合計画をできるだけ多くの市民に知っていただいて、市民が“オールながの”で戦っていく中で、何らかの施策に協力できる人がたくさんいると思えますが、そのような人をどうやって巻き込んでいくかということが、まだ明確になっていないと思えます。ダイジ

エスト版を作ったらどうかということも以前に提案いたしました、そのための予算はないようです。

(事務局)

ありがとうございました。ご縁マークについては、長野市のシティプロモーションの一環として作ったものですが、「幸せ実感都市『ながの』」はどういう形で出していったらよいか事務局でも議論を重ねてまいりました。

そこでこれから総合計画を製本していく中で、「幸せ実感都市」をロゴ化していこうと考えておまして、そのロゴを使って今後は周知していきたいと思います。まだ現段階では細かく決まっていますが、製本する中でロゴの使い方についても考えていきたいと思います。市民への周知については、本編の他に概要版、ダイジェスト版、児童版も作りたいと思います。それらを使って長野市の持っているあらゆる周知の手段を使って広めていきたいと思います。出前講座等でも使っていただいて、委員の皆さんにも周知にご協力いただきたいと思います。児童版については、周知の方法について教育委員会とも話し合いをしまして、小学6年生を対象にした「児童版総合計画」を社会見学の前でのタイミングで作りたいということで、予算化をしております。

委員の皆さんには、市民の皆さんへの周知ということで今までとは違う形でご協力いただくこともあるかと思いますが、ここで説明したらどうか、というような情報もいただければ私どもも出向いてご説明いたしますので、よろしく願いいたします。

(本間委員)

昨日のNHKのニュースで、「長野市の人口減少対策を知っているか」というアンケートに対して、「知っている」と答えた市民が約2割しかいなかったというのを見ました。そのニュースでは、「2割しかいない」というニュアンスだったと思いますが、これをどうやって増やしていくかということ、やはり教育現場を通じて周知していくのがいいのではないかと思います。そのためには子どもたちだけでなく、指導者に対する周知も必要だと考えます。

(事務局)

ありがとうございます。先ほどの児童版の他に、中学生の授業で使ってもらえるような生徒版も作る予定です。これは自前で作る予定ですが、教育委員会とも話し合いながら進めてまいりたいと思います。

(三浦会長)

ありがとうございました。どのように周知していくか、ということがやはり重要だと思います。事務局からもご説明がありましたが様々な手段で周知徹底を図れるような取

組をお願いしたいと思います。

それでは議事（3）長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプランについて、ご説明をお願いします。

（長谷部人口増推進課長）

人口増推進課長の長谷部です。よろしくお願いいたします。

それでは、総合戦略のアクションプランについてご説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

以上で説明を終わります。

（三浦会長）

総合計画と総合戦略の二つが平行していて、やや難しいところがあると思います。

昨年度も報告いただいたアクションプランですが、29年度分ということで、人口減少対策の施策体系をまとめた総合戦略の具体的事業をまとめた計画として、既に議会で決定した今年度予算を基に作成したものだということです。

人口減少対策課から人口増推進課に変わったわけですが、トレンドはどうなのでしょう。

（長谷部人口増推進課長）

先ほどご指摘いただきましたように、NHKでもニュースになりましたが、今は市民の方に長野市がどのような人口減少対策の活動をしているのか、周知するというのを一番にやっております。8月号の広報ながのには、長野市の人口減少対策の取組について掲載したいと思います。お盆休みでご親族も集まる機会もあると思うので、そこで広報ながのを見ていただければいいと思います。また、先ほど事務局から申し上げましたが、小・中・高校生、また就職を間近に控えた大学生への切れ目のない人口減少対策の活動も行っていきたいと考えております。

（三浦会長）

東京で千人単位のイベントを開催した若者がいましたが、「東京でふるさとながの大同窓会事業」は、それを参考にしてこの事業をやることにしたのですか。

（丸山商工労働課長）

この同窓会事業につきましては平成29年度の新規事業ということで、来年の2月に

東京で開催する予定ですが、求職者と企業のマッチングのイベントということで、長野の魅力を発信したり地元長野の企業の紹介を兼ねて就職活動が解禁になる3月の直前のタイミングで新たに企画したものです。

(三浦会長)

長野市出身の若い方に長野市に戻ってもらうための事業ですか。

(丸山商工労働課長)

基本的にはそのとおりです。

(三浦会長)

ありがとうございました。今後は平成29年度のアクションプランに従って動いていくということになります。

今まで議論してきたことと、この事業一覧の結び付きがわかりにくいのですが、とにかく見ていただくしかないと思います。予算化されたもののリストですので、もう修正することはできませんが、来年度に向けてのご意見等を次回の審議会でも出していただければと思います。

それでは他にご意見等も無いようですので、議事を終了したいと思います。

4 閉会

(事務局)

長時間お疲れ様でした。

事務局から次回の日程について申し上げます。先ほど、今年度の推進日程の中でもご説明しましたように、次回は9月頃を予定しています。詳しい日程は未定ですので、できるだけ早くご案内させていただきます。

また、第五次総合計画につきましては、現在、印刷・製本作業中でして、6月中には皆様方のお手元に郵送させていただくようにしますので、今しばらくお時間をいただきたいと思います。

では、以上をもちまして、閉会いたします。ありがとうございました。